

登録コード	HM102900	開講年度	2026				
授業題目	人体構造学論文演習				担当教員	福島 菜奈恵 他	
英文授業名	Thesis Seminar in Anatomy				副担当		
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				優れた学術論文を読み、その内容について第3者に適切に説明できるようにする。		
(2)詳細/Detailed information	優れた医学論文を検索する能力を修得するとともに、脳および神経の研究に関する学術論文を読み、その内容をプレゼンテーションする能力を身につけることを目的とする。						
(3)授業の概要/Overview of course	データベースを用いた医学論文の検索能力を修得する。また、脳および神経の研究に関して、研究内容に関連した学術論文を読んで理解する能力を養う。さらに、読んだ学術論文を適切に要約し、抄読会でプレゼンテーションする能力を修得するとともに、論文の書き方について学ぶ。						
(4)授業計画/Course plan	第1回 論文の検索 第2回 論文の要約と資料作成 第3回 " 第4回 " 第5回 プレゼンテーション 第6回 論文の検索 第7回 論文の要約と資料作成 第8回 " 第9回 " 第10回 プレゼンテーション 第11回 論文の検索 第12回 論文の要約と資料作成 第13回 " 第14回 " 第15回 プレゼンテーション						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法 発表資料とプレゼンテーションで評価する。 成績評価の基準 (i) 論文の選択が適切であり、(ii) 全体の説明が論理的であり、(iii) 目的・背景・方法・結果・考察について適切に説明できており、(iv) どのような課題があるのかを指摘できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」, 4項目までできていれば「やや上にある(良)」, 3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	課題に真摯に取り組む姿勢を学ぶこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	演習中に直接質問してください。						
(8)授業の形式/Course format	各自のパソコンを用いて、論文検索や資料作成を行う。						